千建協山武支部

青年部会が地域貢献

九十九里　豊海小で雑草処理

鈴木支部長

県建設業協会青年部会山武支部（鈴木慧佑・青年部会山武支部長）は27日、九十九里町の豊海小学校（武藤孝之校長）の敷地で除草・枝払いのボランティア活動を実施した。同校による活動に協力する形で、早朝から会員企業8社8人が集まり、地域貢献に汗を流した。

作業前、鈴木支部長は、建設業の魅力を発信するとともにボランティア活動の意義を参加者に説明。「私たちは地域の美化活動として、山武郡内の小学校で毎年定期的に活動している。保護者や児童に建設業をPRすることで、子どもたちが建設業に興味を持ってもらえたら嬉しい」などと述べるとともに、「草刈り機による飛び石や熱中症に気を付けて安全第一での作業を心掛ける」とあいさつした。

会員は、水分補給と休憩をとりながら草刈りを実施。各自が用意した刈払い機、枝切り鋏、チェーンソー、鎌、熊手、フォークを使って、敷地内の雑草や校庭のフェンス際の高く生い茂った草木、枯れ枝などを除去した。繁茂した雑草、枯れ枝は、ダンプ車を使用するなどして手際よく作業を進めた。

刈払い機を使ってフェンス際の雑草を除去

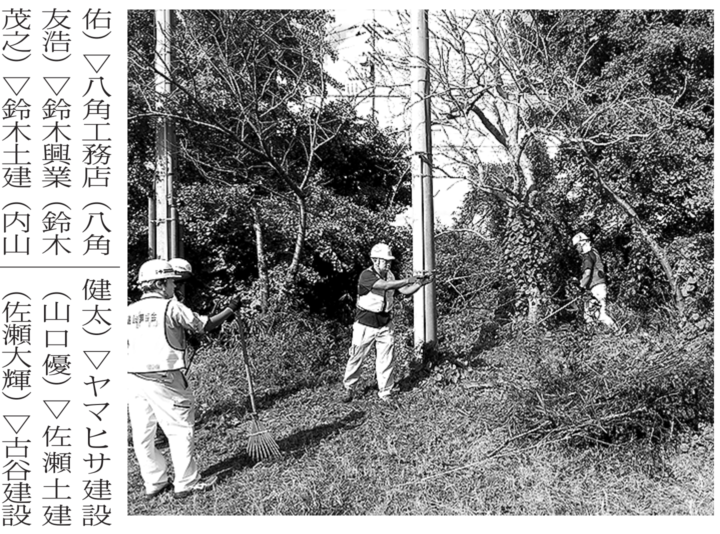
頑張っています 千葉県建設業協会青年部会山武支部
今年度は豊海小学校でボランティア活動を展開した参加メンバー

武藤校長は、「毎回、私たち学校関係者で作業する時は、校舎裏の敷地まで除草できないので、今回の建設業の協力にはとてもありがたく感じている。学校だよりなどを通して、建設業の活動内容を児童や保護者に伝えたい」と感謝の気持ちを話した。

青年部会山武支部は、市民の目に触れる道路工事や建築工事などの日々の業務のほかに、激甚化している災害時に地元山武郡の建設業者がどのような対応をしているかを理解してもらえるように、今後も地域に根ざしたボランティア活動を進めていく方針だ。

参加者は次の通り（順不同、敬称略）。

▽鈴木工務店（鈴木慧佑）▽八角工務店（八角友浩）▽鈴木興業（鈴木茂之）▽鈴木土建（内山康寛）▽小松土建（小松健太）▽ヤマヒサ建設（山口優）▽佐瀬土建（佐瀬大輝）▽古谷建設（花田政法）


枯れ枝などを剪定して校庭を美化した

日造協県支部・県造協

学科と実技を研修

フルハーネス特別教育

みなと公園に移動して行った実技では、墜落制止用器具のフルハーネス装着方法などを教えた

佐藤支部長

日本造園建設業協会県支部（日造協県支部、佐藤正幸支部長）と県造園緑化協会（県造協、伊藤高広会長）は、今年度の「フルハーネス特別教育」を、千葉市中央区で開催した。現場におけるフルハーネス型墜落下制止用器具を用いて作業する場合の安全管理に向けたもので、参加者10人は学科・実技教育の各カリキュラムについて、1日かけて熱心に取り組んだ。

開会にあたり、あいさつに立った日造協県支部の佐藤支部長は、参加者が早朝から集ってくれたことに感謝の言葉を述べると、今回の講習内容などを紹介。工事現場で働く人々の健康と安全確保に努め、作業の効率化が図ることができるよう、今回の講習会を活用してほしいと激励している。

講習日の22日は、早朝から学科教育を受けるため県経営者開館に関係者は集合。フルハーネス特別教育の第一人者となる日造協の「技術アドバイザー」を務める野村徹郎講師の解説により法令関係や▽フルハーネス作業▽労働災害の防止▽墜落制止用器具――に関する知識を学んだ後、みなと公園内に移動し、実際の木を使った「墜落制止用器具の使用方法等」について実践している。

フルハーネス型 墜落制止用器具 特別教育
学科について解説する野村講師

同講習会にあたっては、労働安全衛生法および労働安全衛生規則にもとづき、高さ2m以上の高所で作業床の設置が困難な現場においては、フルハーネス型墜落落下制止用器具を用いて作業する場合、安全のための特別教育を受ける必要があるとの背景がある。

また、日造協主催の街路樹剪定士認定試験においても、2022年1月以降の受験資格に「フルハーネス型落下制止用器具」に関する特別教育の修了証を義務付けていることから、22年度以降は同特別教育の修了証が必須となる。

フルハーネス特別教育の受講者が所属する企業は次の通り。

▽京葉ガーデン▽林造園土木▽植吉造園▽生光園▽東松園▽光風ガーデン▽千葉砂防植産▽林農社

競技場トラック改修

鴨川市の9月補正予算

長谷川市長

鴨川市（長谷川孝夫市長）は27日、一般会計に4億8502万円を追加する補正予算案を明らかにした。30日開会の市議会定例会に提出する。一般会計の総額は188億0968万円になる見通しだ。総合運動施設競技場の設計、給食センター空調設備工事などを計上している。会期は9月26日まで。

主な建設関連費をみると、総合運動施設整備で設計委託料998万円を計上した。日本陸上競技連盟公認の陸上競技場トラックを維持するために、ウレタン舗装の改修をする。工事は来年度を見込んでいる。

給食センターの空調設備設置工事には7140万円を充てる計画だ。

学校関連では、小学校修繕に766万円、中学校に985万円をそれぞれ措置している。

土木関連工事では、道路橋梁修繕に2518万円、河川維持修繕に561万円を計上した。

漁港関連では、整備工事に600万円、県営漁港広域漁港整備事業負担金に477万円を措置した。

このほか、総合保健福祉会館の修繕389万円、基幹系システムの標準化に4365万円、情報系システム修繕100万円を計上。また、図書館管理情報システムの更新に2024年度～29年度限度額1925万円の債務負担を設定している。

伊篠新田で道路整備

酒々井町の補正予算

小坂町長

酒々井町（小坂泰久町長）は27日、9月開会の町議会定例会に提出する一般会計補正予算案などの概要を明らかにした。

主な建設関連では、伊篠新田地区などにある生活道路の整備にあてる道路維持事業の補修工事に707万円を計上している。

同工事では、伊篠新田地区～今倉新田地区にある町道02－004号線の延長約110m（幅員約6m）を対象とした舗装打換などを実施することとしている。

このほか、庁舎管理事業の庁舎電話機ダイヤルイン化に伴う電話交換機機能追加工事166万円や、道路橋りょう一般事務の調査・測量・設計等委託272万円、防犯街灯事業として町内全域を対象としたLED化に向けた調査委託687万円、JR酒々井駅改札前にある自由通路の天井照明LED化改修工事99万円などを予算案化している。

今回の補正予算案では、財政一般事務の財政調整基金1148万円、社会資本等整備基金3659万円、都市計画事業基金4638万円なども盛り込むことで一般会計は合計2億8311万円を増額するとし、総額は76億3848万円となる見込みだ。町議会定例会の会期は9月3日から10月4日までの予定。

新聞ご購読者は利用料金無料
入札・落札情報をインターネットで
かんたん！一発検索
入落NAVI

町役場庁舎の屋上防水など

東庄町

東庄町（岩田利雄町長）は、9月3日開催の町議会定例会に提出する一般会計補正予算案の概要を明らかにした。主な補正内容をみると、施設維持管理工事498万円を計上。町役場庁舎の屋上防水や外壁補修工事と、同じく町役場庁舎に備わる変電設備（キュービクル）の塗装他工事の計2工事を発注する見通しだという。

このほか、上半期に不足した分を補正する庁舎など修繕100万円や、生活者支援クーポン発行事業4548万円、土地改良施設維持管理適正化事業補助金118万円、財政調整基金積立金2億5000万円など合計3億0578万円を増額補正し、一般会計の総額は69億8800万円となる見込み。会期は9月13日までの11日間。

防災施設建設へ工事費補正

九十九里町

九十九里町（浅岡厚町長）は、9月5日開会の町議会定例会に提出する一般会計補正予算案を公表した。片貝地区での防災備蓄倉庫兼津波避難施設建設に向けた工事費に1001万円を増額するとともに、総額1億8426万円の繰越明許費を追加設定するのが主な内容となっている。

建設リサイクル法届出

佐倉市内㊤

三光会が特養新築工

東関道で土木工事など

佐倉市では、6月までに社会福祉法人三光会（栃木県日光市）による上座字安土地での特別養護老人ホームなどの新築や、社会福祉法人大山（佐倉市）による施設整備、東日本高速道路関東支社（千葉市稲毛区）による東関東自動車道（東関道）での土木工事などに関する建設リサイクル法による届出書が提出された。

建設リサイクル法の届け出が求められるのは、コンクリートや木材など特定建設資材を用いた一定規模以上の建築物等解体工事や新築・増築工事。届け出の対象となるのは、▽建築物の解体が延べ80㎡以上▽建築物の新築・増築が延べ500㎡以上▽建築物の修繕・模様替え（リフォームなど）が請負代金1億円以上（税込）▽その他の工作物に関する工事（土木工事など）が請負代金500万円以上（税込）――の案件となっている。主な案件の概要は次の通り。

■建築物の新築・増築

【社会福祉法人三光会による特別養護老人など新築工事】

▽発注者＝社会福祉法人三光会（栃木県日光市、松田圭助理事長）
▽規模＝3階建て延べ4985㎡
▽用途＝特別養護老人ホーム、老人短期入所事業
▽場所＝上座字安土52－1－1、52－2－1他
▽元請業者＝新昭和（君津市）
▽工期＝2025年8月31日
▽届出日＝6月13日

【社会福祉法人大山による非住宅整備】

▽発注者＝社会福祉法人大山（佐倉市）
▽規模＝2階建て延べ2385㎡
▽用途＝非住宅
▽場所＝小篠塚1153－1、大篠塚1582、1583
▽元請業者＝三井ホーム（東京都新宿区）
▽工期＝25年4月15日
▽届出日＝3月11日

■土木工事など

【東日本高速道路関東支社よる整備】

▽発注者＝東日本高速道路関東支社（千葉市稲毛区）
▽請負金額＝18億9970万円
▽場所＝東関東自動車道
▽元請業者＝大林道路関東支店（東京都千代田区）
▽工期＝25年12月5日
▽届出日＝2月2日

【いしともによる整備】

▽発注者＝いしとも（船橋市）
▽請負金額＝3億円
▽場所＝下志津778－1他
▽元請業者＝クガテクニカル興業（千葉市若葉区）
▽工期＝8月31日
▽届出日＝1月26日

【フジクラによる整備】

▽発注者＝フジクラ佐倉事業所（佐倉市）
▽請負金額＝2376万円
▽場所＝六崎1440
▽元請業者＝フジクラファシリティーズ佐倉事業所（佐倉市）
▽届出日＝2月6日

【東京電力パワーグリッドによる整備】

▽発注者＝東京電力パワーグリッド送変電建設センター（東京都港区）
▽請負金額＝4億3800万円
▽場所＝西ユーカリが丘4丁目内
▽元請業者＝タワーライン・ソリューション（東京都豊島区）
▽工期＝9月3日
▽届出日＝2月15日

【個人による整備】

▽発注者＝個人
▽請負金額＝752万円
▽場所＝王子台3－6－12、13
▽元請業者＝大東建託（東京都港区）
▽工期＝8月31日
▽届出日＝2月19日

【東京ガスネットワークによる整備】

▽発注者＝東京ガスネットワーク（千葉市中央区）
▽請負金額＝869万円
▽場所＝六崎1661～石川581、620
▽元請業者＝リック（東京都港区）
▽届出日＝2月29日

【東日本旅客鉄道による整備】

▽発注者＝東日本旅客鉄道（千葉市中央区）
▽請負金額＝4億円
▽場所＝千葉保線設備技術センター管内（総武本線、成田線）
▽元請業者＝交通建設千葉支店（千葉市中央区）
▽工期＝25年3月25日
▽届出日＝3月1日

【東日本旅客鉄道による整備】

▽発注者＝東日本旅客鉄道（千葉市中央区）
▽請負金額＝4億円
▽場所＝千葉保線設備技術センター管内（総武本線、成田線）
▽元請業者＝交通建設千葉支店（千葉市中央区）
▽工期＝25年3月14日
▽届出日＝3月1日

■建築物の解体工事

【個人による住宅解体】

▽発注者＝個人
▽規模＝2階建て延べ158㎡
▽用途＝専用住宅
▽場所＝王子台4－22－5
▽元請業者＝積水ハウス（千葉市中央区）
▽届出日＝1月5日

【個人による住宅解体】

▽発注者＝個人
▽規模＝2階建て延べ92㎡
▽用途＝専用住宅
▽場所＝臼井台81－1
▽元請業者＝サード・エクシブ（習志野市）
▽届出日＝1月5日

【個人による住宅解体】

▽発注者＝個人
▽規模＝2階建て延べ106㎡
▽用途＝専用住宅
▽場所＝上志津1814－5
▽元請業者＝ＲＩＳ（さいたま市西区）
▽届出日＝1月9日

【飯田産業による住宅解体】

▽発注者＝飯田産業（東京都武蔵野市）
▽規模＝2階建て延べ182㎡
▽用途＝専用住宅
▽場所＝井野1372－26
▽元請業者＝優伸コーポレーション（埼玉県ふじみ野市）
▽届出日＝1月9日

【ダイチによる住宅解体】

▽発注者＝ダイチ（市川市）
▽規模＝3階建て延べ275㎡
▽用途＝併用住宅
▽場所＝表町3－1－4
▽元請業者＝シリアスカンパニー（東京都新宿区）
▽届出日＝1月11日

【個人による住宅解体】

▽発注者＝個人
▽規模＝2階建て延べ155㎡
▽用途＝専用住宅
▽場所＝宮ノ台3－8－7
▽元請業者＝マエバラ（茨城県守谷市）
▽届出日＝1月12日

試験対策で学科講習

県交安施設組合

路面標示の技能士検定

受講生を前に合格へのエールを送る（左から）馬場氏、石田氏、金子専務理事

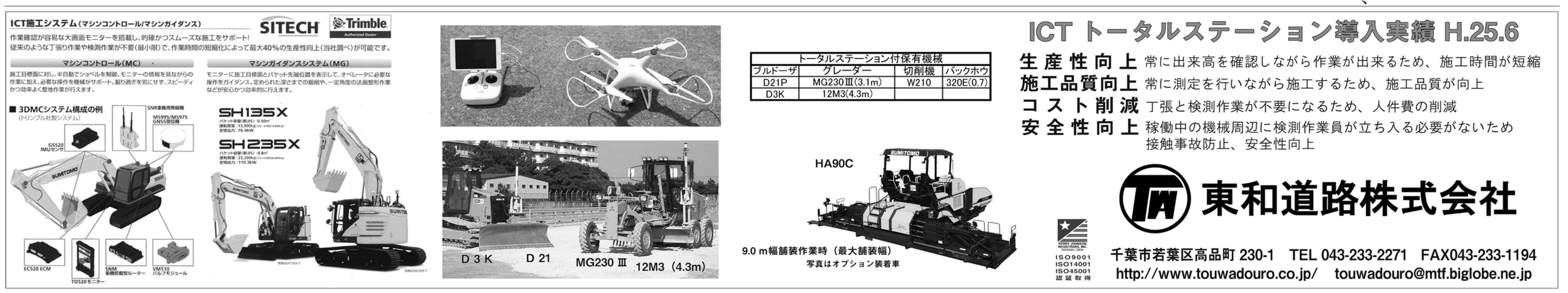
県交通安全施設業協同組合（増田孝理事長）は26日、千葉市美浜区で路面標示施工技能士検定に向けた事前学科講習会を開いた。同組合が主催し、組合員が講師を務める中で9人の受講者は、試験本番に向けて真剣な面持ちで講習に取り組んだ。学科試験は9月1日に実施される。

金子鉄也専務理事は、関係者の協力で講習会が無事に開催されたことに謝意を伝え、その上で「今回で扱う講義内容をしっかりと理解することで、本試験での全員合格につなげられると思う。受講生はほとんどが合格しているので、頑張ってほしい」などと激励の言葉をかけた。

講習は、講師として馬場章次氏（千葉ライナー）と石田秀幸氏（同）が担当した。実地試験にも数多く携わってきた石田氏が講義の進め方について説明し、受講者は多数の練習問題に取り組み、それらの答え合わせする中で、講師らが要点の解説を加えた。本番を見据えた講義を丁寧に進め、受講者の試験合格に向けて全力を注いだ。

職業能力開発促進法に基づく国家検定制度の「路面標示施工技能士」試験で同組合は、これまでにも県職業能力開発協会からの委嘱を受け、今年7月の技能検定には15人の委員を派遣している。

技能士の資格を得ると、専任技術者や主任技術者となり得るほか、技術者の資格としての評価対象になる。組合加盟25社には、路面標示施工技能士の有資格者が約120人在籍しているという。


ICT施工システム（マシンコントロール/マシンガイダンス）
SITECH　Trimble Authorized Dealer
作業確認が容易な大画面モニターを搭載し、的確かつスムーズな施工をサポート!
従来のような丁張り作業や検測作業が不要（最小限）で、作業時間の短縮化によって最大40%の生産性向上（当社調べ）が可能です。

マシンコントロール（MC）
施工目標面に対し、半自動でショベルを制御。モニターの情報を見ながらの作業に加え、必要な操作を機械がサポート。掘り過ぎを気にせず、スピーディかつ効率よく整地作業が行えます。

マシンガイダンスシステム（MG）
モニターに施工目標面とバケット先端位置を表示して、オペレータに必要な操作をガイダンス。定められた深さまでの掘削や、一定角度の法面整形作業などが安心かつ効率的に行えます。

■ 3DMCシステム構成の例
（トリンブル社製システム）

SH135X
バケット容量（新JIS）：0.50㎥
運転質量：13,900kg（ブレード付は14,800kg）
定格出力：76.4kW

SH235X
バケット容量（新JIS）：0.8㎥
運転質量：23,200kg（ブレード付は24,800kg）
定格出力：119.3kW

トータルステーション付保有機械			
ブルドーザ	グレーダー	切削機	バックホウ
D21P	MG230Ⅲ(3.1m)	W210	320E(0.7)
D3K	12M3(4.3m)		

9.0 m幅舗装作業時（最大舗装幅）
写真はオプション装着車

ICT トータルステーション導入実績 H.25.6
生産性向上　常に出来高を確認しながら作業が出来るため、施工時間が短縮
施工品質向上　常に測定を行いながら施工するため、施工品質が向上
コスト削減　丁張と検測作業が不要になるため、人件費の削減
安全性向上　稼働中の機械周辺に検測作業員が立ち入る必要がないため
接触事故防止、安全性向上

ISO9001
ISO14001
ISO45001
認証取得

東和道路株式会社
千葉市若葉区高品町 230-1　TEL 043-233-2271　FAX043-233-1194
http://www.touwadouro.co.jp/　touwadouro@mtf.biglobe.ne.jp